

artron

Realize your
Monodzukuri.

83期（2025年度）環境報告書

2026年6月1日（月）

東亜電気工業株式会社

Monodzukuri推進センター

トップメッセージ

しかけよう。 想像を超える「そうきたか!」

これは、我社のスローガンです。

東亜電気工業は、2017年6月に創立70周年を迎え、その際、変革の決意を込めてコーポレートブランド「artron」を導入しました。

その後、目指す組織像と改革を進める中でこのスローガンが生まれました。

時代は、環境・AI・EV・自動化…と多様性のもとで日々大きく変化を続けています。

取引先様の期待に応え感謝され続けることで永続的な会社を目指し、まずは100年企業への強固な基盤づくりを進めてまいります。

我々は、商社機能だけではなくMonodzukuriにもこだわりを持ち事業展開を進めています。

その為にグローバルネットワークを活かし価値ある商品提供をするとともに、それを創造する人材を磨き上げ、新たな提案に繋げてまいります。

これからも取引先様にMonodzukuriパートナーとして信頼いただけることを目指してまいりますので、変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

代表取締役 社長
岩切 章



企業理念

Mission

私たちは、創造する力と実現する力で
お客様の商品開発とビジネスを成功へと導きます。
働く従業員とともに、物心の豊かさを追求し、
お客様とともに、エレクトロニクスが切り拓く
社会の発展に貢献します。

Vision

世界中の **Monodzukuri** を実現する。
私たちは、世界中のお客様のものを
グローバルネットワークを活用した
最適な価値創造で実現します。

Values

行動指針 5ヶ条

1. 挑戦と創造
2. 自律と共生
3. 誠実と謙虚
4. 情熱と好奇心
5. 顧客重視と利益追求

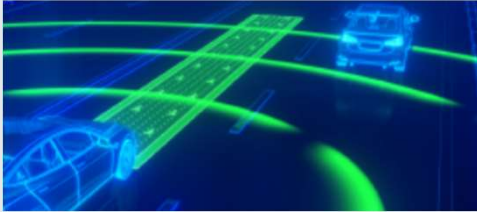
会社概要

商号	東亜電気工業株式会社 TOA ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.
本社	〒101-0021 東京都千代田区外神田5丁目1番4号 Tel. 03-3834-0181 Fax. 03-3834-4526
創立年月日	1947年6月17日（昭和22年）
資本金	4億5,068万円
決算期	毎年2月末日
取引銀行	三菱UFJ銀行・みずほ銀行・りそな銀行・三井住友銀行

展開領域

多種多様な業界・分野における**Monodzukuri**の実現を支えています。

自動車分野（ADAS）



自動車分野（EV）



自動車分野（HMI）



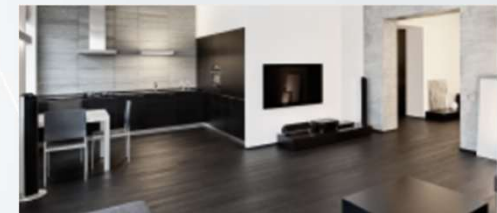
FA・工作機械分野



メディカル分野



家電分野



半導体分野



インフラストラクチャ分野



再生エネルギー分野



熱対策ソリューション分野



OA分野



住宅設備分野



国内営業拠点

全国に広がる営業拠点をもちます。



● 支店・営業所 ○ 国内関係会社

東亜電気工業株式会社

- ・本社
- ・大阪支店
- ・名古屋支店
- ・東北営業所
- ・秋田出張所
- ・小山営業所
- ・北関東営業所
- ・つくば営業所
- ・東京営業所
- ・長岡出張所
- ・横浜営業所
- ・刈谷営業所
- ・姫路営業所
- ・浜松営業所
- ・福岡営業所
- ・つくばテクニカルセンター

関係会社

東亜テクニカル株式会社

- ・堺事業所
- ・会津若松事業所

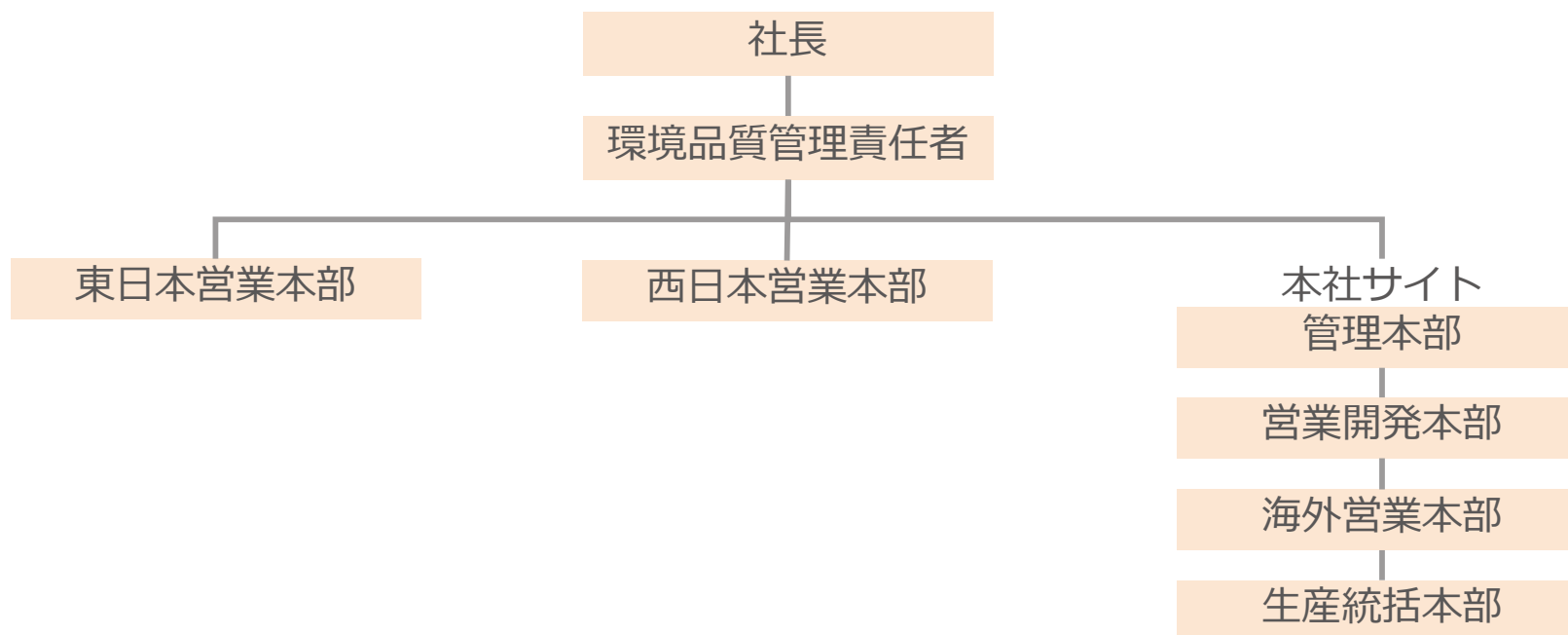
環境マネジメント

環境方針

『環境と調和した事業活動を積極的に推進し、持続可能な社会の実現に貢献する』

- 1 環境に関連する法規制及び当社が合意した顧客要求事項を遵守します
- 2 省資源・省エネルギーの推進及び環境に配慮した商品の調達を推進し、気候変動の緩和と汚染の予防に努めます
- 3 生物多様性の保全を推進し、自然及び地域社会との共生に努めます

環境マネジメントシステム組織図



ISO14001:2015 認証取得



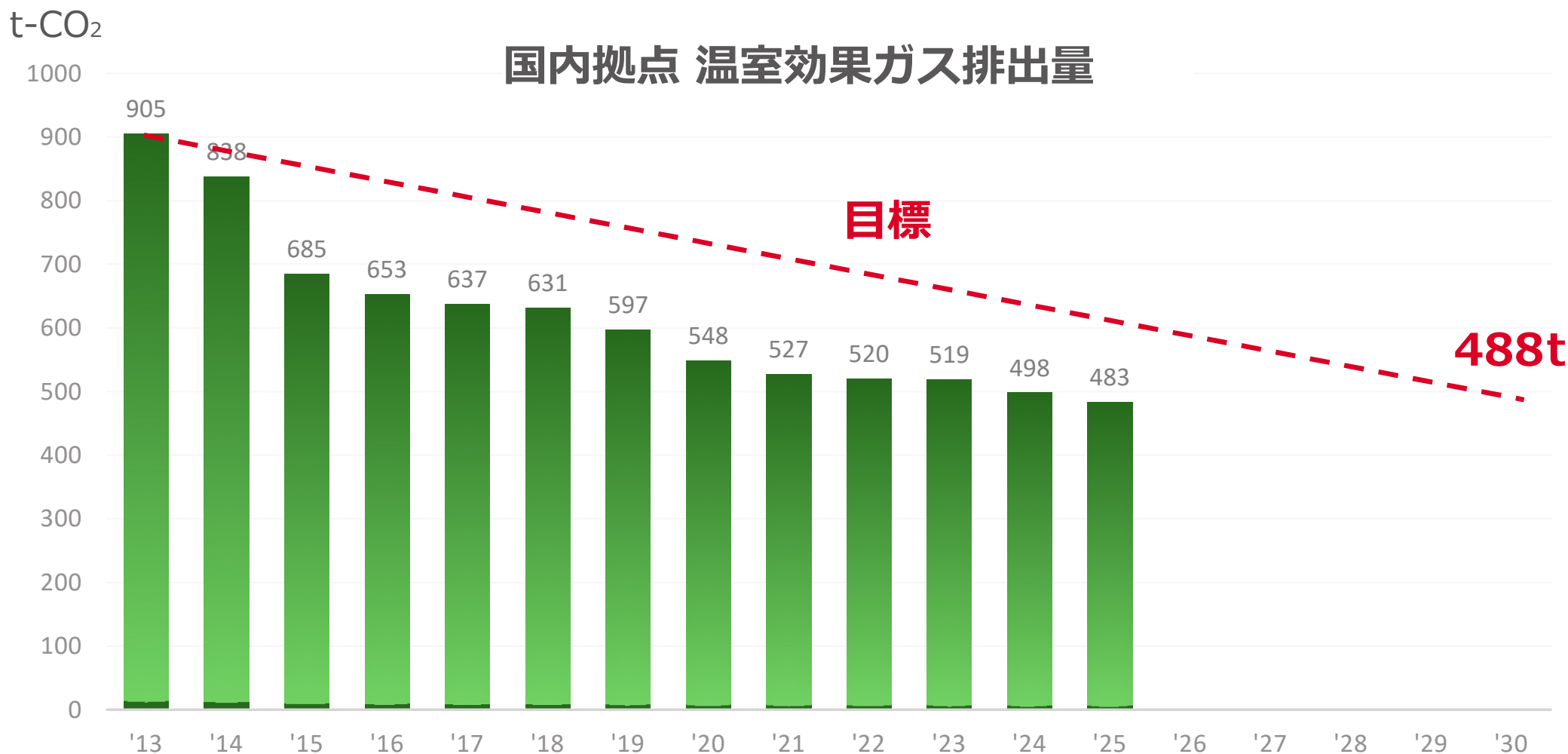
- 認証登録番号：10802-B
- 初回登録日：2000年12月8日
- 有効期限：2027年7月26日
- 認証機関：インターテック・サーティフィケーション（株）
- 網羅する各事業所

- ・ 本社
- ・ 東北営業所
- ・ 小山営業所
- ・ 北関東営業所
- ・ つくば営業所
- ・ 東京営業所
- ・ 横浜営業所
- ・ 大阪支店
- ・ 名古屋支店
- ・ 刈谷営業所
- ・ 姫路営業所
- ・ 浜松営業所
- ・ 福岡営業所
- ・ 特販営業部

温室効果ガス排出量削減目標と実績

2030年度

Scope1 + Scope2 2013年度比で46%削減



5年前倒しで目標値（488t）を達成する事ができたため、
2026年度に2027年度以降の目標の見直しを計画しております

環境負荷軽減取り組み

目標値	取り組み内容	実績
 <p>CO2 499t-CO2 燃料・電気</p>	<p>ZEB Ready導入</p>   <p>HV車へ切替</p>  <p>LEDへ切替</p>  <p>節水便器へ切替</p>  <p>通い箱・直送化</p> 	 <p>CO2 483t-CO2</p>
 <p>水（上水） 2,747m3</p>		 <p>排水 2,272m3 生活排水</p>
 <p>産業廃棄物 38t</p>		 <p>産業廃棄物 83t ・引越廃棄物 ・製品廃棄</p>

会社全体で環境負荷低減に取り組んでいます

環境活動総括

項目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	
CO2排出量※1 単位：t-CO2	目標	520	512	504	499	494	488	488	488	488	
	実績	520	519	498	483						
内訳 ガソリン・軽油※2	目標	202	198	196	194	192	190	190	190	190	
	実績	202	227	213	193						
	電気※3	目標	318	311	308	305	302	298	298	298	298
		実績	318	292	285	290					
廃棄物排出量 単位：t	目標	40	39.6	39.2	38.8	38.4	38	37.6	37.2	36.8	
	実績	40	36.8	54	83.7						
水使用量※4 単位：m ³	目標	2,832	2,803	2,775	2,747	2,719	2,691	2,664	2,637	2,610	
	実績	2,922	2,927	2,866	2,272						
環境法令 重大違反 単位：件	目標	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	※1 CO2排出量は、3年前倒しでの内部目標 ※2 ガソリンと軽油は社用車に使用 （運送業者に委託した配送による使用量は含まず） ※3 電気とは電力会社からの購入電力 ※4 弊社は商社のため、生活用水のみ					
化学物質 重大クレーム 単位：件	目標	0	0	0	0						
	実績	0	0	0	0						

CO2排出量、水使用量は目標達成
 廃棄物は拠点移転と梱包材等の廃棄により目標未達

環境パフォーマンスデータ

83期（2025年度）各拠点実績

拠点	CO2排出量	電力	ガソリン・軽油	廃棄物	水
	単位：t-CO2	単位：kwt/h	単位：ℓ	単位：t	単位：m ³
本社	75	164,078	3,715	19.57	684
東北営業所	35	39,717	8,357	0.04	145
商品企画部	1	932	0	6.86	1
横浜営業所	28	41,568	3,383	3.58	99
東京営業所	29	28,579	6,714	5.50	113
つくば営業所	47	44,470	11,263	4.05	172
小山営業所	20	15,332	5,314	0.41	111
北関東営業所	58	39,575	16,689	3.54	105
大阪支店	39	76,950	3,483	2.97	147
名古屋支店	39	63,112	6,119	5.16	253
浜松営業所	24	25,856	5,210	14.52	76
姫路営業所	30	37,608	4,880	0.91	74
刈谷営業所	40	72,244	4,948	16.05	168
福岡営業所	18	22,507	3,937	0.51	124
合計	483	672,538	84,012	83.67	2,272

拠点毎に実績を可視化し、全社目標値に向け、
環境負荷軽減に取り組んでいます

フロン排出抑制法の順守

拠点	簡易点検 (4回/年)	定期業者点検 (1回/3年)	漏えい量 報告
本社	問題無し	問題無し	無し
東北営業所	問題無し	次回85期予定	無し
横浜営業所	問題無し	対象機器保有無し	無し
東京営業所	問題無し	対象機器保有無し	無し
つくば営業所	問題無し	対象機器保有無し	無し
小山営業所	問題無し	対象機器保有無し	無し
北関東営業所	問題無し	対象機器保有無し	無し
大阪支店	問題無し	問題無し	無し
名古屋支店	問題無し	問題無し	無し
浜松営業所	問題無し	対象機器保有無し	無し
姫路営業所	問題無し	対象機器保有無し	無し
刈谷営業所	問題無し	次回85期予定	無し
福岡営業所	問題無し	対象機器保有無し	無し

取り組み内容

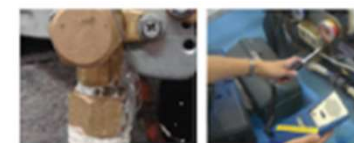
【簡易点検】

管理対象を特定し、
拠点毎に定期的な簡易点検を実施しています



【定期点検】

定期点検が必要な設備を特定し、
3年に1度、業者による点検を実施しています



【集中管理】

拠点毎に期日までに点検された事を
全社データベースで集中管理しています

拠点	機種名	定期点検	簡易点検	管理状況
本社	エアコン	2024/04/01	2024/03/21	正常
東北営業所	エアコン	2024/04/01	2024/03/21	正常
横浜営業所	エアコン	2024/04/01	2024/03/21	正常
東京営業所	エアコン	2024/04/01	2024/03/21	正常
つくば営業所	エアコン	2024/04/01	2024/03/21	正常
小山営業所	エアコン	2024/04/01	2024/03/21	正常
北関東営業所	エアコン	2024/04/01	2024/03/21	正常
大阪支店	エアコン	2024/04/01	2024/03/21	正常
名古屋支店	エアコン	2024/04/01	2024/03/21	正常
浜松営業所	エアコン	2024/04/01	2024/03/21	正常
姫路営業所	エアコン	2024/04/01	2024/03/21	正常
刈谷営業所	エアコン	2024/04/01	2024/03/21	正常
福岡営業所	エアコン	2024/04/01	2024/03/21	正常

- ・東北営業所の秋田出張所において、エアコン故障がありましたが、フロン漏えいがない事を確認できております
- ・開発部保有の恒温恒湿試験機に動作異常報告がありましたが、フロン漏えいはありません

水質汚染防止

浄化槽法の遵守

法令検査結果：適正
実施日：2025年5月12日

保守点検結果：4回とも良
実施日：2025年4月・7月・10月
2026年1月

浄化槽清掃：実施済
実施日：2026年2月19日

報告書番号
整理番号
受付番号

東亜電気工業株式会社 様

指定検査機関

浄化槽法第11条検査結果書

令和07年05月12日 に実施しました検査結果についてご報告いたします。

検査員

1. 判定 適正 おおむね適正 不適正

2. 所見 判定の理由については、下記のとおりです。

★外観検査、水質検査、書類検査の結果、設置状況・管理状況・使用状況のいずれにおいても適正な状態です。引き続き適正な管理に努めてください。

3. 施設概要

管轄行政

設置者 東亜電気工業株式会社
管理者 東亜電気工業株式会社
設置場所

設置年月日 平成27年 使用開始年月日 平成27年02月 処理性能 BOD 10 mg/L

建築物用途 事務所関係 事務所 工事業者 種類

設計者 ニッコー（株） 処理分巻人員 実使用人員

処理方式 合併 団体流動生物ろ過槽方式

保守点検の実施日 清掃の実施者

様式2-1-1
浄化槽保守点検カード (分離接触ばっ気・嫌気ろ床接触ばっ気)

合併処理 (～50人槽)

浄化槽管理者 氏名 東亜電気工業(株) 住所

施設名称 所在地

建築物用途 住宅・共同住宅・事務所・店舗、その他() 設置場所 ニッコー 浄化王

槽の容量 2.5人槽 (10.68m³) 実使用人員 人 設備劣 側溝・河川、その他()

保守点検業者 名称 登録番号 住所

清掃業者 名称 住所

設置年月日 年月日 使用開始年月日 年月日

保守点検実施日時 令和 7年 5月 12日

保守点検実施者名(浄化槽管理士名) 小原信徳・東峰学・本村啓吾

保守点検項目

臭気	1 槽の状況(水質保持等)	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良
	2 流入・接続・取捨管等の状況	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良
	3 マンホール蓋の状況	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良
	4 異常な臭気	◎ 有	◎ 有	◎ 有	◎ 有
	5 腐蝕・損傷に支障を及ぼす構造物	◎ 有	◎ 有	◎ 有	◎ 有
	6 衛生害虫の発生状況	◎ 有	◎ 有	◎ 有	◎ 有
	7 異物・薬物・雨水等の混入	◎ 有	◎ 有	◎ 有	◎ 有
	8 電気設備の状況(ランプ・アース等)	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良
液相分離	9 スカム・汚泥の状況	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良
浮気槽	10 木材の目づまり	◎ 有	◎ 有	◎ 有	◎ 有
	11 木材への汚泥の付着状況	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良
	12 腐食防止剤の塗布	◎ 有	◎ 有	◎ 有	◎ 有
ばっ気室	13 浮気槽の目づまり	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良
	14 生物槽の状況	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良
	15 ばっ気室の状況	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良
	16 浮気槽汚泥の堆積状況	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良
	17 溶存酸素量の誤差	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良
沈降槽	18 移送装置の状況	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良
	19 スカム・浮上物の発生	◎ 有	◎ 有	◎ 有	◎ 有
	20 暴風等への異物等の付着	◎ 有	◎ 有	◎ 有	◎ 有
消毒槽	21 消毒薬の補充	◎ 有	◎ 有	◎ 有	◎ 有
	22 消毒薬の残水・漏下状況	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良
	23 流出物の有無	◎ 有	◎ 有	◎ 有	◎ 有
処理水の状況	24 残留塩素	◎ 有	◎ 有	◎ 有	◎ 有
	25 水温	20℃	33℃	33℃	33℃
	26 水温	30℃	30℃	30℃	30℃
	27 pH	7.3	7.5	7.5	7.5
	28 亜硝酸態窒素(GPR法)	◎ 有	◎ 有	◎ 有	◎ 有
管理業者への報告事項	29 水質等の判定	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良
	30 使用の状況	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良	◎ 不良
	31 清掃の必要性	◎ 有	◎ 有	◎ 有	◎ 有
	32 経過観察が必要であった場合その箇所				
	33 浄化槽法に基づく水質検査(11家検査)の実施年月日 未実施 実施(R6年5月3日) (年月日)				
	34 浄化槽法に基づく清掃の実施年月日 未実施 実施(R6年5月3日) (年月日)				

浄化槽法に基づく水質検査の実施年月日 未実施 実施(R6年5月3日) (年月日)

浄化槽法に基づく清掃の実施年月日 未実施 実施(R6年5月3日) (年月日)

浄化槽法に基づく水質検査の実施について浄化槽管理者の委託を受け、上記に添付する保守点検業者が申込を代行します。検査の種類(1段階検査の水質検査(7検査)、定期検査(11家検査)) 家ごとの申込をつける。上記のとおり検査の申込を委託します。(浄化槽管理者サイン)

様式4
浄化槽清掃カード

合併処理

浄化槽管理者 氏名 東亜電気工業(株) 住所

施設名称 所在地

建築物用途 住宅・共同住宅・事務所・店舗・その他()

処理方式 長時間ばっ気・回転板接触・接触ばっ気・散水ろ床・その他()

槽の容量等 2.5人槽 (10.68 m³) 実使用人員 人

設置年月日 年月日 使用開始年月日 年月日

技術管理者(501人槽以上) 氏名 住所

保守点検業者 名称 登録番号 住所 電話番号

清掃実施年月日 R7年2月20日 8年2月19日 年月日

単位装置

引抜き汚泥量	汚泥の外観	引抜き汚泥量	汚泥の外観	引抜き汚泥量	汚泥の外観
7.2 kl	◎ 不良	3.6 kl	◎ 不良	kl	◎ 不良
kl	◎ 不良	kl	◎ 不良	kl	◎ 不良
kl	◎ 不良	kl	◎ 不良	kl	◎ 不良
kl	◎ 不良	kl	◎ 不良	kl	◎ 不良
kl	◎ 不良	kl	◎ 不良	kl	◎ 不良

搬出汚泥の処分先・処分方法

施設名 処分先 処分方法

搬出先 処分先 処分方法

特記事項

活性汚泥法の場合 SV30 清掃前 % 清掃後 %

(汚泥貯留槽を有しないもの) 汚泥引抜き後の水張り確認 有 無

浄化槽法に基づく水質検査の実施年月日 未実施 実施(年月日)

浄化槽法に基づく水質検査の実施について浄化槽管理者の委託を受け、下欄に記載する清掃業者が申込を代行します。

管理者への連絡事項

上記のとおり検査の申込を委託します。(浄化槽管理者サイン)

清掃業者氏名 名称 住所 電話番号

浄化槽法が適用される北関東営業所では法令点検を受け、
問題ない事を確認しております

環境負荷低減の啓蒙活動

森林伐採、化学物質の過剰使用、気候変動など人間活動による環境負荷を間接的に軽減する事で、生物多様性の保全に取り組んでいます

●環境ニュース発信

Monodzukuri推進センター

東亜電気工業 環境ウォッチ vol.8

MTモールで購入できる再生紙トイレトペーパーのご紹介
エコノミータイプ12個入を選ぶと、量約1.5畳分削減できます。

エコノミータイプ(再生紙) 標準タイプ(再生紙)

紙幅削減のエコタイプはお財布にも環境にも優しいです

商品名:トイレトペーパーエコノミー ダブル
品番:N041J
メーカー:スマートバリュー
仕様:ダブル30m 幅:107mm

商品名:トイレトペーパー ダブル
品番:N010J
メーカー:スマートバリュー
仕様:ダブル30m 幅:114mm

幅の狭い商品を選ぶと資源の節約につながります!

Monodzukuri推進センター

東亜電気工業 環境ウォッチ vol.10

文房具をReuse (再利用) することはゴミの削減につながります
引き出しの中に使っていない文房具 (中古品/未使用品) はありませんか?

捨てる前に
部門メンバーへ確認

中古品/未使用品 (例)

紙ファイル のり メモ帳 付箋

使われていない文房具 (中古品/未使用品) を使いたい人へ渡そう!

不定期で環境負荷低減に向けた啓蒙活動を実施しています

気候変動

気候変動に対する取り組み

地球温暖化をはじめとする気候変動について、リスクを特定した上で、CO2排出量を減らす、災害に備える、顧客要求に応えられる取り組みを進めています

84期東亜電気工業株式会社 リスク機会
2025年12月2日発行

リスク	機会
<ul style="list-style-type: none"> ■ 経済環境/市場の動向 <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済動向、市況変動による影響 ・ 為替相場の変動（円安影響） ・ <u>自然災害による悪影響</u> ■ 事業活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定の主要顧客への依存 ・ コスト競争の激化 ・ 原材料の高騰 ・ 物流輸送費の高騰 ・ 人材の確保/育成 ・ コンプライアンス事故（違法行為、不正行為） ・ 製品およびサービスの品質 ・ 情報漏えい/不正アクセス/システム障害 ・ <u>環境保全推進の遅れ</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市場・経済 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市場規模の拡大、景気の上昇 ・ 新興市場への進出 ■ 法規制 <ul style="list-style-type: none"> ・ 規制の強化又は緩和による事業拡大の好機 ■ 社会 <ul style="list-style-type: none"> ・ ライフスタイルの変化、価値観の多様化 ・ 社会的トレンドの変化 ■ 技術 <ul style="list-style-type: none"> ・ AI、IoT、クラウドサービスなどの新技術 ・ デジタル化による業務効率化や新サービス ・ 自動化技術の導入による生産性向上 ■ 開発 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規顧客、新規分野への進出



環境負荷の低減

2030年の「ありたい姿」
グループ全体で環境負荷低減に取り組む体制を構築し、持続可能な社会の実現に貢献している。

ステークホルダーからの要求事項
環境法規の遵守と、CO2、水、廃棄物の削減など環境問題への対策

所属部門
Monodzukuri推進センター

KPI	2025年度		2026年度		2027年度	
	年次目標	活動予定	年次目標	活動予定	年次目標	活動予定
推進管理体制の構築 環境保全活動	推進管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顧客要求事項の整理 ・ 所属部門の再決定 ・ KPIの決定 ・ アクションプランの策定 	推進管理体制構築 環境保全活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ CO2削減 49% ・ 廃棄物削減率 25.4% ・ 水削減 2,91% ・ フロン削減 累計削減 ・ 水質改善 累計削減 ・ 環境改善 累計削減 ・ 環境改善の実行と改善し 	環境保全活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ CO2削減 48% ・ 廃棄物削減率 25% ・ 水削減 2,91% ・ フロン削減 累計削減 ・ 水質改善 累計削減 ・ 環境改善の実行と改善し
推進管理体制の構築 環境法規遵守	推進管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顧客要求事項の整理 ・ 所属部門の再決定 ・ KPIの決定 ・ アクションプランの策定 	推進管理体制構築 環境法規遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物 廃棄内数ゼロ ・ 水質改善 廃棄内数ゼロ ・ フロン 廃棄内数ゼロ ・ 環境改善 累計削減 ・ 環境改善の実行と改善し 	環境法規遵守の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物 廃棄内数ゼロ ・ 水質改善 廃棄内数ゼロ ・ フロン 廃棄内数ゼロ ・ 環境改善の実行と改善し ・ Net 0の達成

事業活動を通じた環境負荷低減に取り組みを推進するため、サステナビリティ委員会を中心とし、気候変動の取り組みを推進しています

化学物質法規制の改定情報の展開と教育の実施

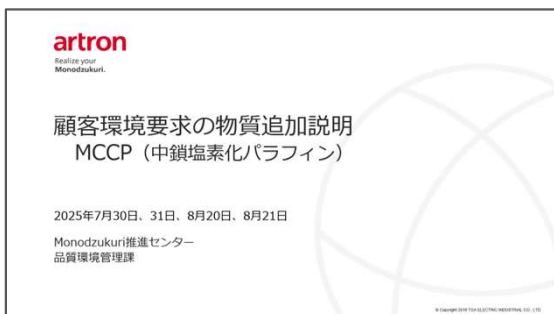
● 法規制改訂情報入手と社内展開

- ・ 2024年12月に導入したWorld Eco Scopeから入手した化学物質法規制改訂情報を速やかにイントラネットの環境通達で社内展開



● 化学物質についての社内教育

- ・ 年1回以上の化学物質に関する教育として、当社にも影響があると判断したPOPs条約での廃絶物質決定に伴う化学物質MCCPの社内教育を2025年7月に実施



MCCP 中鎖塩素化パラフィンとは	
MCCPの特性	
MCCPとは	炭素の数が14から17ある塩素化パラフィン類類似の仲間が多い物質群
用途	① 樹脂、塗料、接着剤などに混ぜる⇒効果：難燃性、柔軟性、耐熱性、耐寒性 ② 塗料、加工油、食品、医薬品などに混ぜる⇒効果：潤滑性、防錆性、酸化防止
特徴	安価で特性が多岐にわたっている為、使い勝手が良い
重要取扱製品	IMDS、chem SHERPA更新後 代表事例を調達にてご連絡します
MCCPの危険性	
残留性	自然界で分解されにくく環境中にとどまっている
生物蓄積性	生物の体内に蓄積しやすい
生殖毒性	生殖の生殖機能や、受精、妊娠、出産など生殖過程に影響を及ぼす
環境や健康への影響が懸念され規制対象の動きが国際的に始まっています	

MCCP 規制までの流れ	
施行/施行予定	規制内容
2021年7月	第25次SVHCとして規制
2025年5月	残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約通称POPs条約で廃絶物質に決定
2027年4月頃迄	化審法 第一種特定化学物質となる予定
グリーン調達基準書及び購入先変更申請に注視してください	

法規制改訂情報の迅速な社内展開と化学物質に関する教育を継続実施

Realize your **Monodzukuri.**

artron